

平成31年 第1回定例会

一 般 質 問

[会派代表質問]

印西市議会

順番	会 派 名	議員番号	議 員 名	質問方式
1	至 誠	1 5 番	小 川 義 人	一問一答方式
2	新 政	9 番	海老原 作 一	登壇一問一答方式
3	創 進	1 3 番	松 尾 榮 子	一問一答方式
4	公 明 党	7 番	浅 沼 美 弥 子	一問一答方式
5	日 本 共 産 党	1 9 番	山 田 喜 代 子	登壇一問一答方式
6	響（ひびき）	1 7 番	金 丸 和 史	一問一答方式

至

誠

質問者 15番 小川 義人

- 1 SDGs（持続可能な開発目標）について
 - (1) 自治体SDGsの導入検討について
 - (2) 自治体SDGsの推進について

- 2 新天皇陛下即位と改元について
 - (1) 市内の対応について
 - (2) 10連休による市民生活への影響について
 - (3) お祝いのイベントについて

- 3 本年10月に予定されている消費税増税について
 - (1) 市政への影響について
 - (2) 市内の対応について

- 4 庁舎の省エネルギー・省コストについて
 - (1) 節電による効果について
 - (2) 設備設置などの投資による効果について

- 5 道路整備について
 - (1) 市内を通行する交通量の予測について
 - ①流入人口の増加に伴うもの
 - ②商業施設等の増加に伴うもの
 - (2) 交通量調査や予測に基づく改善について
 - ①道路線形や交差点等の改良について
 - ②道路修繕計画の策定について
 - ③新設道路の早期供用について

- 6 小・中学校でのインフルエンザ対策について
 - (1) 感染防止について
 - (2) 予防の取り組みについて

新 政

質問者 9番 海老原 作 一

1 基金の適正管理について

印西市の平成29年度決算カードによれば、積立金残高は約145億円であり、前年度比較で約17億円の増である。そして、約207億円である標準財政規模の約7割に達している。また、地方債残高においては約161億円であり前年比較で約16億円の減という状況にある。第2次基本計画中的に見込まれた整備事業等を推進し、地方交付税の縮減にも対応しながら、財政計画の目標である基金全体で70億円以上を維持することができている。そこで、公共施設等総合管理計画から見えてくる将来の財政負担を見据えた基金の必要性に鑑み質問する。

- (1) 公共施設の老朽化対策等への課題対応は、適宜、財政調整基金から振り替え対応するとしているが、考え方に変わりはないか
- (2) インフラ資産の改修・更新を目的とした基金の涵養を明確にするための特定目的基金のあり方の研究は進んでいるか

2 市民参加に関わる条例制定以降の市の取り組みについて

市民参画型のまちづくりを標榜し、平成16年に市民活動推進条例、平成20年に市民参加条例が制定され10年以上が経過した。そこで、条例施行による成果と課題について検証することが必要と考え以下の質問をする。

- (1) 市民活動が推進されたことによる成果をどう考えるか
- (2) 市民活動をさらに活性化するための課題についてはどうか
- (3) 市民参加条例施行による成果をどう考えるか
- (4) 市民参加によるまちづくりを推進するための課題認識はどうか

3 印旛高校跡地活用について

跡地全体のコンセプトを地域の歴史・文化資源を継承し、豊かな自然環境を残し、未来に向けた多様な交流を育むとした印旛高校跡地活用基本計画に基づき、6つのゾーンごとに整備事業を推進し、現在最終段階に入っている。

そこで以下の質問をする。

- (1) 印旛高校跡地活用に関わる用地取得に要した費用はいくらか
- (2) 各種施設整備に関わる現在までの総事業費はいくらか
- (3) 広場の利用状況を把握しているか

4 子ども虐待に対する対策について

子どもに対する虐待が悲しい事件として報道されている。そして、関係機関の対応についても疑問が投げかけられ、このようなことが起こらないように社会全体として考えていくことが求められている。そこで、市の考えを伺う。

- (1) 子どもの虐待防止に向けた取り組みはどうか
- (2) 虐待の発見をどのようにしているのか
- (3) 虐待発見後の保護対応をどのように考えているか

5 道路インフラの保守管理について

自動車等による交通手段を利用しない生活は考えられない社会が存在し、その交通手段にとって必要不可欠なものに道路がある。道路の整備及びその保守管理は行政にとって重要な事業であり、市民生活向上に直結するものでもある。そのような観点から以下の質問をする。

- (1) 市道の総延長と保守コストについて
- (2) 道路の補修における効率的な進め方についてどう考えているか
- (3) 先進市が行っている道路の不具合に対する通報システムについて

創 進

質問者 13番 松尾 榮子

1 将来を見据えた計画的なまちづくりの推進について

印西市は、総合的・計画的な行政運営を図っていくための最上位計画として、基本構想、基本計画、実施計画からなる印西市総合計画や印西市都市マスタープラン等を定め、まちづくりを進めています。

現計画の目標年次である平成32年度は、平成22年の合併から10年が経過する節目の年であり、こうした中でのまちづくり、市政運営は、市の現状から将来にわたる長期的な展望と、市の全域と市をめぐる様々な状況を見わたす広域的な視点が、ますます重要になるものと考えます。そこで伺います。

- (1) 印西市総合計画第二次基本計画について
 - ①進捗状況
 - ②現計画の仕上げに向けての課題と取り組み
 - ③次期計画策定に向けての取り組み

- (2) 印西市実施計画について
 - ①進捗状況
 - ②実施計画の表記内容について
- (3) 行政評価について
 - ①行政評価の実施状況
 - ②行政評価の結果の反映について
- (4) 印西市都市マスタープランについて
 - ①進捗状況
 - ②次期プラン策定に向けての取り組み

2 利根川、印旛沼、手賀沼等の自然環境の保全と活用について

印西市は利根川、印旛沼、手賀沼と3方を水辺に囲まれた自然豊かな市です。白鳥や多種の野鳥、動植物などが数多く生息する水辺の貴重な自然環境を保全し、今後もますます市の重要な魅力資源として活用していくための取り組みについて伺います。

- (1) 自然環境の保全について
- (2) 市の魅力資源としての活用について

3 災害時の弱者対策について

平成30年も、6月の大阪北部地震、中国地方を中心に多くの水害・土砂災害が発生した7月豪雨、9月の北海道胆振東部地震、9月～10月の台風被害等、多くの自然災害が発生し、甚大な被害をもたらされました。犠牲者・被災者の皆様には、心よりお悔みとお見舞いを申し上げます。

こうした災害時に犠牲となられたのは、やはり高齢の方や障がいのある方が多く、こうした災害弱者・情報弱者等への対応が、改めて今後の防災対策でも大きな課題となってきました。そこで伺います。

- (1) 避難行動要支援者の避難支援について
- (2) 福祉避難所の設置について
- (3) 避難所への介護士派遣について
- (4) 外国人の防災対策について

4 次期中間処理施設建設に関わる市の対応について

印西市民の生活に不可欠なごみ処理事業について、印西地区環境整備事業組合が進める次期中間処理施設建設計画の状況と市の対応を伺います。

- (1) 次期中間処理施設建設計画の現況と今後
- (2) アクセス道路の進捗状況と今後
- (3) 地域振興策の現況と今後

5 市街地におけるハクビシン等野生動物の被害対策について

イノシシ等有害鳥獣による農業被害が年々増大し、被害対策についての取り組みが進められていますが、近年は市街地の住宅街にもハクビシン等が出現し、家庭菜園や庭木の果樹荒らし、糞尿や空き家への住みつきなどの被害が増えています。そこで伺います。

(1) 住宅地におけるハクビシン等野生動物の被害対策について

6 未整備区間の道路照明について

市内各所に、道路建設中で一時中断している場所等がありますが、そうした地点には道路照明もなく、夜間は真っ暗です。そうした未整備区間に一般市民も利用する保育園や病医院等の施設ができる場合の道路照明について伺います。

(1) 未整備区間の道路照明への対応について

公 明 党

質問者 7番 浅 沼 美弥子

1 防災・減災対策

- (1) 妊産婦・乳児救護所の整備
- (2) 学童保育施設や保育所への備蓄推進
- (3) 学校体育館等へのエアコン設置等暑さ対策の強化
- (4) 消防団の装備強化等
- (5) ハザードマップを活用した防災意識の調査・啓発
- (6) 防災ラジオ、個別受信機の配備など情報伝達手段の強化策
- (7) 蓄電機、非常電源確保の推進策
- (8) 新たな施設建設に伴う防災機能整備

2 健康寿命・活動寿命の延伸策

- (1) スポーツを楽しめる環境整備
- (2) 介護予防、フレイル予防対策
- (3) 認知症対策の強化

- 3 消費税、軽減税率対策
 - (1) プレミアム商品券の発行
 - (2) 中小・小規模事業者支援

- 4 幼児教育・保育の無償化への対応
 - (1) 無償化の内容と周知
 - (2) 食材料費等の取り扱いと周知
 - (3) 無償化に伴う影響
 - ①子育て支援策の拡充
 - ②教育格差への対応（教育クーポンの導入等）

- 5 市の特性を踏まえたコミュニティ政策の再構築
 - (1) コミュニティの考え方
 - (2) 町内会・自治会や市民からの声や要望
 - (3) コミュニティ政策の課題
 - (4) 地域コミュニティ構想や計画策定など今後の取り組み

- 6 合併後9年、残った課題についての認識と今後の取り組み

日本共産党

質問者 19番 山田喜代子

- 1 消費税10パーセントへの増税について
安倍政権のもと、貧困と格差が広がっている。家計消費は25万円減、実質賃金は19万円減となっている。特に2014年に消費税が5パーセントから8パーセントに引き上げられてから消費不況が顕著となっている。
一方、富裕層の富の増加と大企業の内部留保の増加が際立っている。低所得者ほど負担の重い消費税の増税の中止こそ最良の景気対策だ。
 - (1) 市民の暮らしへの影響をどう考えるか
 - (2) 地域経済への影響をどう考えるか
 - (3) 消費税10パーセントへの増税に対する市長の見解は

- 2 憲法26条にもとづいた就学援助制度の拡充について
 - (1) 必要とされる世帯が利用しているか

- (2) どう周知してきたか
- (3) 所得基準を生活保護基準の1.4倍にする考えはないか

3 いこいの湯の早期の再開を

2016年10月12日に再開された、いこいの湯は、その2年後の2018年10月10日レジオネラ属菌が検出された為、今日まで休止に至っている。

- (1) これまでの対応はどうであったか
- (2) 水質検査の実施頻度は充分であったのか
- (3) 施行業者の責任はどうか
- (4) 指定管理者の責任はどうか
- (5) 市はどう関わってきたのか
- (6) 再開の見通しはどうか

4 18才までの医療費の窓口無料化を

近隣自治体に先がけての18才医療費無料化は、保護者からも歓迎されている。しかし、窓口負担があることから窓口負担をゼロにすることが求められている。その考えはないか。

5 学校給食費の無料化を

2018年5月現在、県内23市町で給食費の助成を実施している。無料化に取り組む考えはないか。

6 プラスチックゴミの減量の推進を

今、地球規模でプラスチックゴミによる汚染や被害が広がっている。プラスチックゴミ減量、削減にどう取り組む考えか。

- (1) プラスチックゴミの現状
- (2) これまでの減量への取り組み
- (3) 今後の対策

響（ひびき）

質問者 17番 金丸和史

1 「印旛中央地区」に関すること

(1) 現在の進捗状況について

(2) 今後の対応について

- ①準備会のような入り口論ばかりを行うのではなく、研究会又は勉強会のような組織を立ち上げてはどうか
- ②着地点はどこを目指していくのか

2 職員の処分に関すること

(1) 千葉県公平委員会での処分修正を受け入れたことについて

(2) 裁決後、当該職員との話し合いについて

- ①本人の意向はどうであったのか
- ②遡って給与等は本人に支払われたのか

(3) 対応等について

- ①ミニコミ紙に掲載された記事をどのように受け止めているのか
- ②今回の事案をどのように次につなげて行くのか

3 パスポート発券業務に関することについて

(1) どのような状況か

(2) 市外の人の利用状況は

4 外国人の居住実態に関すること

(1) 技能実習生の実態について

- ①印西市にいるかどうかの把握はしているのか
- ②説明会等の依頼はないのか

(2) 生活支援等、印西市として行っている施策は

(3) 苦情等は寄せられていないか

(4) 窓口対応で問題となっていることはないのか

(5) 住民登録等はどのような流れで行っているか

5 千葉ニュータウン中央駅と印西牧の原駅との中間駅の新設の可能性について

(1) 庁内での研究は進んでいるか

(2) 以前から申し上げているが、調査費を計上してはどうか